

2026年 5月 8日

各 位

会 社 名 山 喜 株 式 会 社  
(コード 3 5 9 8 東 証 スタンダード)  
代表者名 代表取締役会長 白崎 雅郎  
問合せ先 管 理 部 門 長 森 弘 吉  
(TEL 0 6 - 6 7 6 4 - 2 2 1 1)

### 構造改革に伴う特別損失の計上および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年5月8日開催の取締役会において、事業構造改革に伴う特別損失(事業構造改善費用)を計上することを決議いたしました。それに伴い、2026年2月13日に公表いたしました2026年3月期(2025年4月1日～2026年3月31日)の通期連結業績予想を下記の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 特別損失(事業構造改善費用)の計上について

当社は、2026年度より開始する新中期経営計画における事業構造改革の一環として、従来の事業モデルおよび販売政策の下で形成された商品群について、商品戦略の抜本的な見直しを実施することを決定いたしました。

本事業構造改革では、販売戦略を「ビジネスシーン領域」に絞り込む方針とし、当該領域に該当しない商品については、特定市場からの撤退を含む事業の再構築を進めてまいります。

この方針転換は、市場環境および消費行動の変化に加え、販売実績や商品ライフサイクル等を総合的に勘案した結果、今後の事業構造および商品・販売戦略上、継続的な販売可能性が見込めない商品が存在すると判断したことによるものです。

また、在庫体質の最適化を事業構造改革の重要な施策と位置付け、在庫効率および適正在庫の観点から、商品政策の見直しを進めております。

その結果、来期以降の商品・販売戦略に沿わない商品については、今後、製造および通常取引条件による販売を行わない方針とし、当該方針に基づき、将来の通常販売の可能性が見込めない旧在庫品については棚卸資産の評価損を計上することといたしました。

以上の対応は、新中期経営計画に基づく事業モデル転換に伴い、当期に集中的に発生する一時的な影響であり、2026年3月期の連結決算において、事業構造改善費用として約618百万円を特別損失として計上する見込みです。

#### 2. 生産拠点再編に伴う特別損失の計上について

当社は、2026年1月6日付で公表いたしましたとおり、連結子会社である山喜ソーイング株式会社の信州工場を閉鎖いたしました。本件に伴う工場閉鎖関連費用等につきましては、事業構造の転換に伴う一時的な影響であることから、事業構造改善費用として、2026年3月期の連結決算において、約36百万円を特別損失として計上する見込みです。

3. 2026年3月期 通期連結業績予想の修正について

(1) 通期連結業績予想数値の修正 (2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	(百万円) 10,000	(百万円) △190	(百万円) △70	(百万円) △100	円 銭 △7.05
今回業績予想 (B)	9,900	△300	△210	△960	△67.75
増減額 (B-A)	△100	△110	△140	△860	—
増減率 (%)	△1.0	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2025年3月期通期)	10,774	48	15	90	6.35

(2) 業績予想修正の理由

2026年3月期通期連結業績につきましては、当社主力商品であるドレスシャツにおいて、オフィスファッションのカジュアル化の進展による需要の減少に加え、物価上昇の長期化に伴う消費者の節約志向の高まりなどから、引き続き厳しい事業環境が続いております。このような環境の下、取引先における売り場縮小や、原材料価格の高騰を受けた販売価格の引き上げ等の影響により、受注および販売数量が当初想定を下回る見込みとなりました。

加えて、上記に記載しました事業構造の転換に伴う特別損失を計上することから、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益についても前回発表予想を大きく下回る見込みとなりました。

これらの状況を踏まえ、2026年2月13日に公表した通期連結業績予想を修正いたします。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上